

令和2年4月2日

大阪医科大学および大阪医科大学附属病院
関係各位

大阪医科大学
学長 大槻 勝紀
大阪医科大学附属病院
病院長 南 敏明

大阪医科大学および大阪医科大学附属病院での 新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止へのご協力と真摯な取り組みに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、大阪は東京と同様に流行地の一つであり、感染ルートが不明な患者も多く、爆発的な感染者の増加が懸念されています。高槻市でも新型コロナウイルス検査が陽性ながら感染ルートが不明な患者を認め、大阪府内の感染症指定医療機関への入院調整が行われています。このような状況を鑑みると、日本の感染者数は発表されている数字の何倍も存在すると推定されます。

従って、誰でもあっても感染の自覚のない無症候性感染者や軽症患者と知らない間に濃厚接触し、クラスターに巻き込まれる危険が大いにあります。

このように、皆さんは大阪医科大学や大阪医科大学附属病院内に新型コロナウイルスを持ち込む危険に常に曝されされていることを自覚し、あらためて、以下の事項の遵守をお願い致します。

1. **新型コロナウイルスの感染リスクを正しく理解し、大阪医科大学と大阪医科大学附属病院病棟内への新型コロナウイルス侵入を防いでください。**
2. **手洗いと適切なマスク着用、感染拡大リスク3「密」条件の排除など、推奨されている感染拡大予防策を必ず実践して下さい。**
3. **自粛の緩みが生じないように、あらためて自らの行動を見直し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止へ積極的なアクションをとってください。**

以上